

行財政改革の更なる推進を

横芝光町議会議長 伊藤 良一



明けましておめでとうございます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。新町横芝光町も合併して十ヶ月を迎え行政を始め、議会、そして各種団体の合併も進み、自治体としての形が整ってまいりました。これも偏に町民皆様の「一緒になろう」という気運が、無難に統合が進みその後の活動・運営がスムーズに行われている現われだと思えます。ここに改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、町の行財政面を見ますと、国の地方交付税の大幅な削減により、地方自治体は大変苦慮しております。我が町だけでなくこの市町村も大変厳しい状況です。「合併しても、しなくても行政改革を行わなければいずれ行きづまる。」という先達の話がありました。国の地方への切り詰めは、私共の予想をはるかに超える厳しいものであります。合併して二、三年が一番苦しい時といわれます。合併により一時的に職員も増え、加えて旧町時代の継続事業もありますが、町税の大半が職員の人件費相当額となる現状はな

んとしても改めなければなりません。「最少の経費で最大の効果」を目指すべきです。OA機器も揃い事務事業の一部民間委託もなされており、スリムな行政はできる筈です。町職員の皆様には耳の痛い話ですが「町の将来展望」という観点からよろしくご協力をお願いします。

高齢化社会を迎え、社会保障費は年々億単位で増加し、加えて、少子化対策も年々手厚くなっております。こうした現状を鑑みる時、歳入面での増加を何としても図るべきです。町の進める各種事業に国、県の補助事業を積極的に取り入れるのはもちろんの事、成田空港の地域振興策を活用した助成も図るべきと思えます。又、空港周辺の利を生かし企業誘致も積極的に行い税収増、雇用の増につなげたいと思えます。議会も執行部と連携を図りながら大事な議会活動の一つとして、この問題に取り組んで参りたいと考えております。

本年の皆様のご健勝をご祈念申し上げ新年のあいさつとします。

